



令和元年度

やまみなみ校長室だより No. 5

令和元年5月10日

岸和田市立山直南小学校

校長 松村 慎治

どんどん暗唱して言葉を豊かに

「せり なずな ごぎょう はこべら ほとけのぞ すずな すずしろ これぞ 七草」。

1年生の教室から子どもたちの元気の良い声が聞こえていました。4月から1年生は音声言語教材を活用し、暗唱を含めて表現力の向上を図っています。何度も聞こえてくるので、職員室の先生方も覚えてしまいました。私の子どもも小学校3年生の時、『つり橋わたれ』という国語の物語の長文を丸覚えして「聞いて！」と言ってきたことを思い出します。何度も読むうちに暗唱できるようになりました。特に小学生の頃、何度も何度も読んで覚えてしまった文章は、不思議といつまでも覚えていることが多いです。体に言葉が入ってしまったと言えるのではないのでしょうか。『声に出して読みたい日本語』の著者である齋藤孝さんも、「日本語を体得するという観点からすると、子どもの頃に名文と出会い、それを覚え、身体に染み込ませることは、その後の人生に莫大なプラスの効果を与える。」と述べています。言葉を豊かにするために、よい文、いわゆる名文は、どんどん暗唱して体にしみこませたいものです。国際社会にあっても、子どもたちはこれからの日本語文化の担い手ですから。

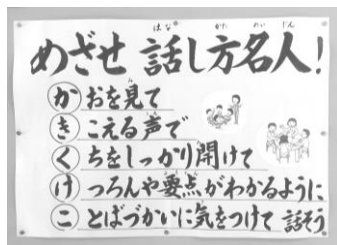
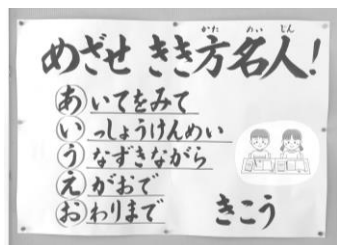
校内における情報発信

学校にはさまざまな掲示物や展示物があります。各学級では、掲示板に図工作品や習字作品、係活動のポスター等が掲示されています。廊下や階段の踊り場にも、各種ポスターや連絡、詩や作文等の学習に関わる掲示物があります。毎日目に触れるものですから、子どもたちの健やかな成長に効果的なものと考えて、私たちも掲出するように心がけています。

右下は玄関を入ったところ（左側）にある掲示板前の棚に設けた「情報発信コーナー」の写真です。これまでから子どもたちや保護者の皆さまに機会をとらえてお知らせしておりますが、ご存知でしょうか。一律に教室配付できないものや、枚数に限りがあるものなどを置いています。いつでもどなたでもご覧いただけるように設けたものです。教室や廊下の掲示物等だけでなく、こちらのコーナーにあるチラシ等もご覧いただけますとうれしいです。



子どもたちの作品や「マイノート」の実践例等は、学習意欲を喚起したり、学習への興味関心を高めたりするため、掲出しています。また、下にある「めざせ きき方名人」「めざせ 話し方名人」のように、子どもたちに直接メッセージを伝え、学習効果を高めようとする掲示物もあります。校内における情報発信は、さまざまな形でもって実効性を考え行っております。



保護者の皆さまが来校された際には、ぜひ校内の掲示物や情報発信コーナーをご覧くださいませようお願いします。併せてご家庭での子育ての参考になれば幸いです。